

探究のための情報活用ガイダンス

～後期 PBL（ミニ課題研究）へ向けて～

高校 1年
「課題研究Ⅰ」
情報活用能力の育成

ねらい

- 様々な資料（メディア）や情報検索の手段を知ること、場面や目的に応じてそれらを使い分け、効果的に情報収集することができる。
- 学校図書館のサービスや活用方法を学び、今後の探究学習の発展につなげる。

学習展開

- ① 今回のガイダンスの目的と概要について説明する。
- ② 資料（メディア）の種類や特性、論文検索の方法、インターネットでの情報収集方法について説明する。
- ③ 本校で利用できる新聞記事データベースや蔵書検索について説明し、生徒は（各自の端末で・または班ごとに）実際に検索を行う。
- ④ 課題研究での図書館利用について説明し、サービスや自由に使用できるツール類（アナログ・デジタル両方）にも触れ、更なる活用を促す。

【補足】昨年度の同時期に実施したガイダンスは Google Meet を利用して各教室へ一斉配信したが、今年度は反省を踏まえて、図書館で事前に音声入りのスライドを準備し、クラス担任が教室で再生・操作する形式を取った。生徒の活動の様子を見てクラス担任が進度を調整しながら実施することができ、好評だった。

当日の様子



当日の使用スライド（抜粋）

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭と学校司書は、授業の内容やねらいについて、担当教員と事前に打ち合わせを行う。
- 司書教諭と司書は、ガイダンスの使用資料（音声を追加した Power Point プレゼンテーション）と当日の進行表を作成し、提供する。
- 司書・司書教諭は、TT として、当日の活動の支援と記録を行う。

★指導のポイント

- ◆ 新聞記事データベースや蔵書検索については、演習時間を設定して実際に検索を体験させ、今後の活用へつなげやすくする。
- ◆ ネットワークの接続状況の調査を同時に行い、ICT を活用した学年単位の活動へ備える。

資料

『すぐできる!情報検索ガイド ー図書館の便利ワザー』

（鳥取県立高校司書×鳥取県立図書館 2022.11）を事前に学年の Classroom へ配信。

『課題研究メソッド 2nd Edition』岡本尚也／著（啓林館、2021）

など関連資料